

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【公表番号】特表2009-529089(P2009-529089A)
 【公表日】平成21年8月13日 (2009.8.13)
 【年通号数】公開・登録公報2009-032
 【出願番号】特願2008-558279(P2008-558279)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 133/06 (2006.01)
 C 0 9 J 133/02 (2006.01)
 C 0 9 J 11/04 (2006.01)
 C 0 8 F 220/12 (2006.01)
 C 0 8 K 3/36 (2006.01)
 C 0 8 L 33/06 (2006.01)
 C 0 9 J 7/02 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 133/06 Z N M
 C 0 9 J 133/02
 C 0 9 J 11/04
 C 0 8 F 220/12
 C 0 8 K 3/36
 C 0 8 L 33/06
 C 0 9 J 7/02 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成22年1月25日 (2010.1.25)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

a) i) 90 ~ 99 重量部の非第三級アルコールの(メタ)アクリル酸エステルであるモノマー単位であって、前記アルコールが 1 ~ 14 個の炭素原子を有するモノマー単位;
 ii) 1 ~ 10 重量部の酸官能性モノマーであるモノマー単位;
 iii) 0 ~ 10 重量部の第 2 の極性モノマーであるモノマー単位;
 iv) 0 ~ 5 重量部のビニルモノマー単位; 及び
 v) 0 ~ 1 重量部の多官能性アクリレートを含むポリマー成分、並びに
 b) ポリマー 100 重量部に対し 1 ~ 8 重量部の、9 ~ 25 nm の平均粒径と 40 ~ 300 nm の長さを有する針状シリカナノ粒子を含み、
前記シリカナノ粒子が表面改質されていない感圧性接着剤組成物。

【請求項 2】
 前記針状シリカナノ粒子が親水性ナノ粒子である、請求項 1 に記載の感圧性接着剤。

【請求項 3】
 前記ポリマーが、1 ~ 5 重量部のアクリル酸及び 1 ~ 5 重量部の第 2 の極性モノマーを含む、請求項 1 に記載の感圧性接着剤。

【請求項 4】
 前記針状シリカナノ粒子が表面改質されており、利用可能な表面官能基の 25 % 未満が

改質されている、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

0 ～ 8 重量部の、20 ナノメートル以下の平均粒径を有する球形状シリカナノ粒子を更に含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の感圧性接着剤及び可撓性裏層を含む、接着剤物品。

【請求項 7】

pH 2 ～ 6 を有する水性エマルションであって、

(a) 前記エマルションの総重量に対し 24 ～ 約 70 重量 % のポリマーであって、

i) 90 ～ 99 重量部、好ましくは 90 ～ 95 重量部の、非第三級アルコールの(メタ)アクリル酸エステル(前記アルコールは 1 ～ 14 個の炭素原子を有し、炭素原子の平均個数が約 4 ～ 約 12 個である)；

ii) 1 ～ 10 重量部の酸官能性モノマー；

iii) 0 ～ 10 重量部の第 2 の非酸官能性極性モノマー；

iv) 0 ～ 5 重量部のビニルモノマー；

v) 任意に、0.01 ～ 1 重量部の多官能性アクリレート；

vi) 0 ～ 0.5 重量部の連鎖移動剤；

vii) ポリマー 100 重量部に対し 1 ～ 8 重量部の、9 ～ 25 nm の平均粒径と 40 ～ 300 nm の長さを有するシリカナノ粒子の重合反応生成物を含むポリマー((i) ～ (vii) の合計が 100 重量部である)、及び

(b) 前記エマルションの総重量に対し 30 ～ 70 重量 % の水相であって、界面活性剤を含む水相を含むエマルション。